

## 難聴分科会（情報交換会）

・きこえに関する基礎的な内容を学ぶことができ、有意義な時間でした。難聴のお子さんたちの支援について飯塚先生や小林先生にアドバイス頂き、心強いです。通常の学級にいるきこえに不自由を感じている子をもっと知りたいです。小林先生が最後にご紹介くださった資料が届くのが楽しみです。今後事例検討などできるといいですね。

・テーマを絞って、お話を聞けたのでとても勉強になりました。オーディオグラムの見方や、ロジャーの活用の仕方など参考になりました。

・オーディオグラムの説明を受けられたのがよかった。

各学校で、難聴児に何を教えているか実践例をあげてもらったのは大いに参考になる。一言で言えば、社会で生きていくためのそれぞれの聞こえの課題を見つけていくことなのだろう。工夫の仕方がそれぞれあるのだと思った。今後、どのような実践をしているのかをすべての学校から出してもらい、配布すると全体の教育が充実すると思う。

・飯塚先生と小林先生から専門的な話を聞けたのがとてもよかった。

見たところ、難聴児への教育に対し手探りで頑張っている方々が多かったように感じられる。研修を積み重ねながら、その日どのような授業をし、どのような目的で、どのような力を身につけさせたいかを常に考えながら授業を組み立てていきたいと思う。

・「スキルちゃん」を見させていただきました。ことばの教室も、補聴器をつけた子が来ることがあります。先生方に気を付けていただきたいことを説明するときには使用させていただきたいと思います。内容的に、難聴の子だけでなく、ことばの教室に来る子全員に共通することも多く、とても良い資料をいただきました。ありがとうございます。

・聞こえている音レベルがどのぐらいなのかに触れていたことから、自園の園児の実態を少し理解することができました。各学校で行われている支援方法をいろいろ聞くことができ、とても参考になりました。飯塚先生の進行とまとめが、さらにわかりやすかったです。

・補聴器をつけた後も、引き続きメンテナンスをしていくことが大事だと知りました。園児の聴こえ方をしっかり把握し、それにあった対応をよく考えていきたいと思います。

現在も難聴児を担当しております。今日伺ったことを園児 1 人ひとりに照らし合わせ、より適切な指導が出来るよう、学んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

・難聴分科会では、司会の飯塚先生や、聴覚特別支援学校の小林先生が、質問者の問いに真摯に答えてくださいました。難聴に困っている児童だけでなく、周囲の環境を整えることや、困っている児童を取り巻く子供たちや大人への理解を深めることの大切さも学ばせていただきました。ありがとうございました。

・他の先生方の意見や、やり方を聞く機会があまりないので貴重な経験だった。

・今まで難聴児にかかわった経験がほとんどなかったのですが、参考になることがたくさんありました。

・難聴児に対してどんな指導や配慮が必要なのか、目の前にいる難聴のお子さんを理解するために大切な示唆をいただきました。日々の指導では行き詰まりや「これでいいのかな？」という疑問に出会うことが多くありますが、分

科会にご参加の皆さんのお話を伺い、根気強くゆったりと、でも確実に指導を積み重ねていくことが大切と改めて感じました。飯塚先生の存在がとてもありがたく、心強く思っています。今回も司会をありがとうございました。

- ・難聴分科会に初めて参加しました。難聴についていろいろ知ることができました。その子の持っている力を生かしながら、その子に必要な力を伸ばしていくという基本は通級共通だと思いました。

- ・分科会には参加していませんが、小林先生のスキルちゃんを拝見させていただきました。構音指導をしていくうえで様々な文献を参考にしてきましたが・・・スキルちゃんが今までで一番わかりやすく、もっと続けて読みたいと思いました。

一側性難聴の子どもを担当しています。自分と子どもの位置、声のかけ方等大変参考になりました。またの機会にご講演いただけたら嬉しく思います。

- ・難聴部会に初めて参加しました。今回は、難聴のお子さんの対応を充分に知っておられる飯塚先生が司会をしてくださったので、知りたい知識や対応方法、県内難聴教室の情報共有など、有意義な時間となりました。時間が足りないと思う位、もっと飯塚先生から教えていただきたいと思いましたし、他の教室の先生のご意見も伺いたいと思える、良い時間でした。